

第 1 回川柳地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回川柳地区まちづくり会議
開催日時	令和元年 7 月 19 日（金） 19 時～21 時
参加者数	16 人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、濱野副課長、荒井主事</p> <p>都市計画課：西村調整幹、佐田主幹</p> <p>市民活動支援課：森下主事</p> <p>川柳地区センター・公民館：中村所長、佐川主事</p> <p>ランドブレイン：稲葉氏、中原氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 地区まちづくり会議について（事務局より説明）</p> <p>(2) 会長・副会長の選出について</p> <p>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(6) 越谷市及び地区の現状について（ランドブレインより説明）</p> <p>(7) その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>(1) 地区まちづくり会議について</p> <p>質疑：前回の計画策定の際にも地区まちづくり会議を行ったのか。以前、何かの計画策定の際にも集められたが、それとは別のものなのか。</p> <p>回答：前回の計画策定の際にも同様に行っている。また、総合戦略を策定する際にも集まって頂いたことがあるが、今回はその会議とは別である。</p> <p>(2) 会長・副会長の選出について</p> <p>質疑：なし</p> <p>回答：なし</p> <p>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</p> <p>質疑：なし</p> <p>回答：なし</p> <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</p> <p>質疑：資料 3 右側の図について、レイクタウン駅南口は、レイクタウン 8 丁目だと認識しているが、大相模地区でよいか。地区の境界がどのようになっているのか。ま</p>

た、進捗 2 番の八条用水緑道の整備について、令和 12 年度の整備状況はどのようなものを目指しているのか。

回答：レイクタウン地区の区画整理が終わり、レイクタウン 8 丁目は大相模地区となっている。地区の境界については、町名の境が地区の境である。詳しい境については次回ご提示させて頂く。また、レイクタウンの左岸は 100%整備が完了している。右岸についてはまだ完了していない。市道認定されていること、桜並木が残っていることから、公園緑地課、道路整備課の方とも調整しながら整備を進めていく。公園緑地課に問い合わせたところ最終的な整備後イメージはまだできておらず、市民の皆様のご意見も踏まえながら整備を進めていく必要があると思う。

質疑：資料 3 の青い破線は何を示しているのか。

回答：副次核の線であり、レイクタウンと流通団地を結ぶ場所を副次核と設定している。

質疑：第 4 次振興計画の中で川柳大成線の西側、八条用水沿いの道路に車出入り禁止柵を設置したのは越谷市だと聞いたがどういった理由であの構造にしたのか。また、施策 7 の蒲生柿木川戸線の整備はどこが整備しているのか。市役所の管轄なら、歩道の整備は市役所に要望すれば実現化するのか。

回答：叡明高校の西側の道路については存じ上げない。確認させていただき次回までに回答させていただく。蒲生柿木川戸線の整備は県が行うことになっている。そちらの事業主体は越谷市ではなく埼玉県で行う予定となっている。

質疑：歩道整備についてはここで議論してもだめなのか。

回答：ここで意見が出たことについては市の道路担当課から上げることになる。都市計画決定で幅員、車道、歩道の幅が決まっていると思われる。計画図があれば次回お示ししたい。

質疑：資料 3 について、地域の境界がよくわからない。

回答：丁字界を基準とするか、自治会の境を基準とするか、まだ整理がされていない。自治会は自由加入なので地区をまたいでも問題はない。

質疑：八条用水沿いの桜の木は全て伐採するという話が 10 年前にあったが、現在もその方針なのか。

回答：桜の木については、そのような話があったことは認識していない。事業に向けて整備が始まる時には皆様のお知恵を拝借しながら進めさせていただきたい。

質疑：資料 3 の進捗状況について、施策の中に目標 2 が一つも書かれていないので 5/8 ではないのではないのか。また、八条用水と葛西用水、市街化区域はだいぶ整備されているが、調整区域の方は前と全く同じ状況なので完了ではないと感じる。

回答：一点目の 5/8 というのは、主な施策がマスタープランで 8 つ挙げられている中の 5 つが完了しているということである。二点目の道路整備についてのご意見は各論となるため、まちづくりの会議で提言していただきたい。

質疑：地区センターの建替え、子どもたちのマナー対策に関する進捗について伺いたい。

回答：地区センター建替えについては、持ち帰り、次回の会議でお答えしたい。

回答：子どもたちのマナーについては、川柳にある光陽中があいさつナンバーワンの学校を目指す取組でかなりマナーはよくなってきている。地区センターに来る子どもたちもあいさつができるようになり、勉強しに来ていると感じているが、まだ

足りないようであれば教育委員会にお話しさせていただく。

質疑：蒲生四丁目の地区境の話はどうなっているのか。

回答：蒲生四丁目（蒲生地区）、伊原新田（川柳地区）、蒲生三丁目自治会に加入している方がいる状況である。第5次改訂にあたっては、自治会の境を地区の境にするか、今まで通り葛西用水沿いにするかは整っていない状況である。

質疑：現在、防災MAPを作成しているが、川柳に入っている方たちは含めなくてよいという理解でよいか。

回答：防災MAPは住まわれている方が利用しやすいように作るので、地区割に固執せず住んでいる方中心で考えていただきたい。

参考意見：蒲生地区の防災MAPは蒲生四丁目に入っている。

回答：13地区全体で防災MAPを半分は作ったが、予算の関係で半分はこれから作る場所である。既に作成しているところとの境目がデッドロックになっている。

質疑：地区名で区切れればそうなる。蒲生は蒲生である。昔の地区分けが残っているので自治会は伊原新田に入ってしまった。区切れない。

回答：MAPはあくまで参考ということでご理解頂きたい。

(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について

質疑：目標1で八条用水の整備が完了したとの説明であったが、先ほどの説明とは異なるのではないか。レイクタウンの左岸側は完了だが、右岸側は完了していないのでは。

回答：ご指摘の通り、完了したのは左岸側、右岸側については検討中である。訂正させていただく。

質疑：資料4について、具体的な提言内容に関する資料が次回以降に示されるのか。この席に提言した内容が示されなければ次に進まないのではないか。

回答：資料を皆様に提示する方法を工夫して、次回以降に議論のもととなるよう、データを作り、用意させていただく。

質疑：川柳小学校の通学路がせまい。また、防犯に関する取組みは完了となっているが、今後、防犯カメラを設置していく必要のある場所が増えていくと思う

回答：今後、目標として盛り込む内容のため、次回のワークショップの時にご意見頂きたい。

(6) 越谷市及び地区の現状について

質疑：資料5-1について、75歳以上は再掲なのか。

回答：再掲である。

質疑：資料5-1について、地区別の10年間の人口増減率を教えてください。

回答：各地区の増減率については、把握しているため、次回お示しする。

質疑：資料5-1について、レイクタウン7丁目はレイクタウンができてから人口が増えたと思う。注釈として人口が増えたのはレイクタウンができたからといった旨を入れた方がいいのでは。また、レイクタウンができる前後で各丁目の人口の変化をわかるようにした方がいいのでは。

回答：各丁目ごとに人口を抽出するための方法を検討させて頂きたい。

質疑：まちづくり提言書の中で困難と判断されたものは、次回の計画では削除するのか。

回答：現段階では困難としているが、地元からの要望もあると認識しているため、実現に向けて引き続き取り組んでいく。

質疑：提言書の作り方は、今までの10年計画をないものとして考え、新たな意見や要望を積極的に取り入れていくというやり方なのか。

回答：地区によって、提言の考え方は異なる。会長、副会長とも相談して決めたい。

意見：医療環境の充実や下水道の整備は今後も続けていかなければいけないと思う。

質疑：この計画は、地域から意見を吸い上げて市の提案としてつくるものなのか。

回答：地域からの意見と市の案を合わせてつくっていく。

質疑：川柳地区において、区画整理や地区センターの建替えの要望が以前あったが、どのようになったのか。区画整理をやっていないため下水道の整備が進んでいないのか。（調整区域であるはあるが。）

回答：次回までにお答えする。

意見：レイクタウン周辺では、速度を出しすぎる車が見られるため危険である。

(7) その他

質疑：なし

回答：なし

第 2 回川柳地区まちづくり会議の記録

会議名	第 2 回川柳地区まちづくり会議
開催日時	令和元年 8 月 19 日 (月) 19 時～21 時
参加者数	17 人
事務局	<p>政策課：濱野副課長、荒井主事</p> <p>都市計画課：西村調整幹、佐田主幹</p> <p>市民活動支援課：栗田主事</p> <p>川柳地区センター・公民館：中村所長、須賀主事、佐川主事</p> <p>ランドブレイン：稲葉氏、中原氏</p>
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 第 1 回会議質疑への回答 4 川柳地区まちづくり会議 今後の進め方について 5 グループワーク 「地区の現状と将来のまちづくりについて」 <ol style="list-style-type: none"> ① 地区の強みと弱みについて ② 将来のまちづくりの目標について 6 その他 7 閉会
質疑応答	<p>■第 1 回会議質疑への回答</p> <p>Q：八条用水緑道の今後の整備の見通しはどうなっているのか。 回答：現段階では調査・検討中のため、今後地域の方々と協議を重ねていきながら整備計画を策定していく。なお、「桜並木を全て伐採する」と市から発言があったとのことだが、正式な記録はない。道路幅員確保のために障害となる部分は一部撤去する必要があるが、道路整備とともに緑道整備の観点からも地元の声を聞きながら関係団体と十分協議して参りたい。</p> <p>Q：叡明高校の西側道路に鍵が掛かっている入れない、カギは市が管理しているのか。 回答：今年 3 月 18 日からレイクタウン地区内のスーパーカスミ前交差点を転回禁止にしたことから、武蔵野線沿いの通り抜け防止のためにバリカーを設置し、カギは市が管理している。</p> <p>Q：蒲生柿木川戸線の整備主体はどこか。県施行の場合、提言できるものなのか。 回答：県施行の路線のため、市の第 5 次総合振興計画の事業として位置づけることはできないが、昭和 62 年当初より復員が 25m に見直されるなど、事業化に向けて見直しはありうるため、地区からの提言があった旨を県に伝えることはできる。</p> <p>Q：川柳地区で新たな区画整理事業はできないのか。 回答：市街化区域の拡大は土地区画整理事業をはじめとする市街地開発事業等の実施が前提になっている。本市においては今後、人口減少社会や少子高齢化などを見据え、原則的に市街地の拡大は行わないものとしている。</p>

Q：川柳地区で下水道整備を提言できるのか。

回答：下水道整備について市街化区域内での整備が認可されており、今後も既存の認可区域内での整備となる。ご了承いただきたい。

Q：道路標識がない危険な箇所への速度規制の設置要請について提言できるのか。

回答：速度規制については、具体的な箇所を示していただければ、交通規制の要望として越谷警察署に伝える。

Q：防犯カメラや防犯灯の設置状況はどうなっているのか。

回答：道路照明灯の設置については、市街化区域で約 60m間隔、市街化調整区域で約 90m間隔が設置基準となっている。市の道路総務課が要望を受け現地調査をした上で設置の可否を検討し、可能となれば自治会からの道路照明灯設置要望書を提出していただき設置する流れとなる。防犯カメラについては、子どもの安全確保はまず人の目が大事であり、さらなる目として設置を進めている。今年度は市街化調整区域内の通学路へ 50 台設置、このうち川柳地区では 4 台設置予定である。設置効果の検証を行いながら、警察などと連携のもと今後の設置計画を検討していく。

Q：通学路の変更はどのような流れで行われるのか。

回答：通学路については、児童生徒の安全等を考慮して、学校長が指定している。そのため、通学路の危険箇所については、まずは学校にご相談いただきたい。これをもとに学校では通学路を変更するのがよいか、通学路の整備を市に要望するのがよいか等を判断することとなっている。

Q：川柳地区の他市との境界、越谷市内の地区境についてはどうなっているのか。また、蒲生 4 丁目は自治会が 3 つまたがっているが、防災マップの作成に当たり境界をどのように考えればよいか。

回答：以前各自治会からの情報を元に作成した自治会の区割りがあるので別添資料を参照いただきたい。なお、蒲生 4 丁目については蒲生地区防災マップに掲載されているが、現在の 13 地区の区分け以前からの生活圏などから境をまたいで自治会に加入している場合もある。防災マップ等の地区境界についても現状を踏まえて検討いただければと思う。

Q：川柳地区センターの建替えについて、前回は提言したが検討しているのか。

回答：市では公共施設の用途別に将来のあり方を定めるアクションプランの策定をしている。川柳地区センターについても建替えや大規模改修、耐震化などのさまざまな対策が考えられるが、施設の機能や規模今後の人口構造の変化などを総合的に判断していく必要があるため、今後もアクションプランに示す方向性に沿った施設のあり方を検討するとともに、地域課題やニーズなど地域のみなさんのご意見を十分に踏まえながら検討していく。

■その他の質疑

質疑：小中学校を防災拠点に指定するからには、その小中学校周辺地域だけでも下水道を通してもらうようできないか。また、災害時に備えるため、備蓄倉庫も併せて整備して欲しい。

回答：そのようなご意見を地区の提言としてまとめて頂きたい。

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

≪Aグループの意見≫目標①川柳らしさを生かしたまちづくり（コミュニティ）

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・女体神社周辺の道路が超キケン ・用水路の道路側（草加方面）にある護岸は完了工事必要 ・側溝の未整備 ・街路灯が少ない ・車道歩道の区別がない道路が多い。 ・車両通行量が増えているが道路がそのままである。 ・道路の安全 ・トラックが多く危険 ・交通網が不便 	
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳らしさを活かす、拠点の地区センターが老朽化、耐震化されていないので活動しにくい。 ・新旧住民の交流が進まないのは公民館の古さ、狭さ、汚さ、キケンさ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標1（タイトル変更）川柳らしさを活かす拠点（公民館）を建替える。
市街化の差	<ul style="list-style-type: none"> ・調整区域から市街化区域へ ・生活インフラの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と協働で葛西用水左岸の整備促進
自然・田園風景	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に草が茂って通学の妨げになっている。 ・豊かな自然田園環境が破壊されている。 ・営業用水・排水の区別がない。 ・下水道、排水路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・田園風景・緑の保全。 ・緑が多い ・自然がある。 ・田園風景と八条用水と春に咲く桜。 ・自然が多い ・豊かな自然、田園風景
子どもの遊び場・公園	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場が少ない（公園等）、遊具がない ・子どもの遊び場がない ・川柳小学校の運動場がせまい。 ・あそぶ場所がない。 ・公園が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が元気よく外で遊ぶ。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸端会議がなくなっている ・老人が住みにくくなっているようである。 ・若い人、子供が少ない ・若手の人材不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協が始めた調節池での生き物調査を予算拡大して市全体の名物まで高める ・人間関係が密接。 ・スポーツの交流が盛んです。

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳の新旧のまちの交流、レイクタウン7丁目（新）、その他（旧）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・I-1 レイクタウン7丁目の住民の自治会加入を促進する。 ・充実したコミュニティづくり。夏祭り、体育祭、文化祭、まち探検隊と活動を活発に行っている。 ・人口増加、緑化、コミュニティ ・地域住民の交流の活性化。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・文教地区としてのまち作り ・保育施設の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設の充実。 ・レイクタウンができたので便利になった。 ・大型商業施設が近くにあり買い物等便利。

《Aグループの意見》目標②美しく住みやすい住環境づくり（環境）

② 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・歩道を問わずポイ捨て（タバコ）マナー ・用水路周辺の廃棄物減量 ・通行人のマナー、ポイ捨て、ペットのフン ・ごみステーションの整備、ゴミの山が見えないように ・ごみ集積場の確保 ・ゴミだし場所の整備 ・ごみの集積場にルール通りに出していない人がいる。 ・ゴミの集積問題、改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事、クリーン作戦、夏まつり、保育園 ・クリーン作戦の継続 ・以前より不法投棄のゴミが少なくなった（目立たなくなった） ・クリーン作戦の継続実施 ・コミ協のクリーン作戦 ・クリーン作戦通じて清掃他マナー向上、ポイ捨て防止を図っている。
買い物		<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニが多い、買い物は便利
用水	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道が整備されていない ・農業用水に家庭の排水がまじっている。 ・用水沿いの桜の道路整備 ・排水溝の整備をしていないので蚊が多く発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛西用水の水量は四季を通して満水にしてほしい ・目標 2 II-1（タイトル変更） 下水道整備による衛生的な住環境づくり
人のよさ		<ul style="list-style-type: none"> ・住人のあいさつ
田園		<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの緑を残す。（自然災害、大雨時） ・春夏にザリガニつり大会 ・目標 2 II-2（タイトル変更） 美しく住みやすい環境づくりのマナー向上
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない（暗すぎる） ・トラックヤードの増加に伴う環境抑制 ・自然を残す道路整備を切望する 	
ペット	<ul style="list-style-type: none"> ・犬を中心としたペットマナーの向上！ ・ペット（犬・ネコ）のマナー教室を公民館で ・ペットの飼育マナー ・ペット飼育マナーが悪い 	
歩道	<ul style="list-style-type: none"> ・道路縁石の草が目立つ ・公民館南側の公園を撤去して駐車場に ・横断歩道の設置 ・立木が歩道にはみ出している（空家対策） 	

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
	・ 柿木線沿信号機（歩道）が少ない	
空き家	・ 川柳 5 丁目の空家問題	

≪Bグループの意見≫目標①川柳らしさを生かしたまちづくり（文教・福祉、新たな取組み）

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
施設の使いやすさ・アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 施設（老人等）への遠さについて認識、不便を感じる場所がある。 ひのき荘へのバスが終点の場合、それ以降の地区へは徒歩で帰ることがある。終点は南体育館まで走らせてほしい。 	
新住民との交流	<ul style="list-style-type: none"> 目標①-3 レイクタウンの住民との交流…。交流の場所として、地区センターの立替えを実施していただく必要がある。場所の受容もない中での検討は意味がない。（現地域センターは狭い） 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場として新たに、生き物調査を行うなど積極的に活動している。 ①-3 レイクタウンの住民との交流…。新しく、레이크タウン自治会が誕生してとても良い事。さらに交流が深まればうれしい。 레이크タウン住民の方との交流により川柳地区が活性化される 레이크タウン7丁目24西自治会ができた。→新住民との交流
施設の再編活用	<ul style="list-style-type: none"> 施設（ハコ）があってもほかの地区が使うもの 地域に有効な使われ方がされてない 	<ul style="list-style-type: none"> 施設（ハコ）が充実した。
通学路道路環境	<ul style="list-style-type: none"> 大成・柿木線の道路拡大 排水路の蓋なし 街灯、県道における市、県、自治会、持分、あいまい。 信号に標識を付けてほしい。公民館入口、学校入口又は1丁目交差点等 交通量の多い道の道幅の確保、通学路については大きな車が入らないよう広くすることがイイと思う 柿の木線県道の横断歩道が少ない。 ①-3 蒲生、柿木線道路の拡充（幅）を拡げて欲しい。 暗い道路あり 레이크タウン地区からの通学が増大し、キケン度が増している 歩道が無い（学童通学時） 道路センターラインが夜間にライトの光でよく見えるようにしてほしい。 	

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
高齢者		<ul style="list-style-type: none"> ・ひのき荘が活用できる ・老人福祉施設ができた。（ひのき荘） ・老人の施設が増えて地区との交流ができるようになった。 ・地域包括センターがあり、相談事などがスムーズにできる
保育・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の老朽化 ・人口増による校舎増築→校庭がせまくなる、子供遊べない ・目標①-2 保育施設の設置を検討して～。 ・ひのき荘を、子育て環境の利用場所として使用して良いのではないか？高齢者のみの使用とは限らなくても良いのでは。 ・川柳公園には園児を先生が引率してくるが、犬を放し飼いにし、フンをそのままにしている。子供にかみついたりフンを手で触るかもしれない、看板なり付けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園ができた。（東萌、あいらん） ・文教地区である。（川小、光陽中、明正小、蒲生南小、越谷南中、越ヶ谷南高校、叡智高校）
新取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・行政がモデル地区として認め推進してくれば、生活環境、道路空間が良くなる。

《B グループの意見》目標③犯罪を未然に防ぎ、災害に強い地区づくり（防災・防犯）

目標④安全で快適な地区の暮らしを支える道路づくり（道路環境）

② 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・シテイメールでは変質者が増えている様子、警察のパトロールをふやしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール活動を行っている。（コミ協、青少年、自治連） ・高齢化のおかげで昼間在宅者が増え、防犯上よい方向。
避難	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な避難計画がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・田や畑が残っている（スペースがある） ・避難所が多い（学校、広い公園、地区センター） ・洪水、竜巻など地区内に大きな被害はないが、防災意識は高まっている。 ・避難場所はたくさんある
夜間の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない。 ・空家における樹木により街灯が暗くなったところが増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯はあまり増えていないが、水田がトラック駐車場になり、照明により夜でも明るくなった
地区センター 防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・いつくるかわからない地震、地区内住民の仮住居としては現在の公民館では危険が大きいのではないかと。早急に建替が必要。将来の5市町が一つになるのを考えながら ・地区センター前の公園をセンターの管理にしてほしい。建替時に必要。 ・地区拠点による地区センターの建替 ・地区センターの建て替え推進 ・③-2 防災拠点の整備→地区センター建替え ・非常時の避難場所がわかりづらい…。 ・避難所となる施設が古い ・避難場所の整備が全くされていない ・下水道が無いため、仮設トイレが置けない ・避難者への支援のため、小中学校には下水道の整備を行ってほしい。 	
備蓄	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄が少なすぎる ・災害時に向けた備蓄が欲しい ・小中学校に備蓄倉庫を整備してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイク第八公園にも設置、防災倉庫、他にも推し進めよう！ ・川柳公園に備蓄倉庫があるので安心感がある

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の歩道を拡大してほしい。車椅子と自転車がすれ違いできるように ・交通マナーが悪い（特に自転車） ・交通量が増しているのに、道路整備が遅れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に広くなる余地がある。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・朝プラ西側道路の整備 ・県道、歩く所が無い ・八条用水側道の整備（西側） ・麦塚橋南（側） ・柿の木県道、県のせいにして市が逃げてる！ ・道路の凹凸による通行の不便。 ・女体神社横の道がせまくて交通量が多い ・信号機で右折が多い箇所にもかかわらず、右折時の誘導信号機がついていない所が多い ・麦塚、草加川柳小道路の拡張 	

第3回川柳地区まちづくり会議の記録

会議名	第3回川柳地区まちづくり会議
開催日時	令和元年9月13日(金) 19時~21時
参加者数	14人
事務局	政策課：濱野副課長、荒井主事 都市計画課：西村調整幹、佐田主幹 市民活動支援課：栗田主事 川柳地区センター・公民館：中村所長、須賀主事、佐川主事 ランドブレイン：稲葉氏、中原氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク 「将来のまちづくりの目標実現に向けた取組」 ① 「自分たちでできる取組」と「支援が必要な取組」の抽出 ② 「すぐにはできる取組」と「時間がかかる取組」の整理 4 その他 5 閉会
質疑応答	なし

■ワークショップ「自分たちでできる取組」と「支援してほしいこと」の抽出

目指したいまち：(仮)川柳らしさを生かしたまちづくり(コミュニティ)

《Aグループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間や放課後などの小・中学生の学習支援 ・学校応援団の一部を公民館で実施する。 ex.算数、国語の 5:00~6:00 教室 ・子ども食堂の設置 ・子どもの遊び教室の拡充 ・ベビーマッサージの充実 ・公民館に若い人たちに来てもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターの建替 ・保育関係の専門家の派遣
学習	<ul style="list-style-type: none"> ・男性高齢者向けの講座・イベント ・川柳の歴史講座 ・講座やサークル活動の豊富なメニューづくり ・公民館活動、サークル活動、自治会活動などに若い人を参加させる。 ・学校との連携 ・郷土愛をもってもらうための自然観察グループの拠点づくり ・出前講座の開催(月1回) ・時事問題に即した講座の実施 ・健康体操グループ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターの建替 ・専門家や講師の派遣
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間災害体験 ・災害時における即応の連携体制 	
就業支援		<ul style="list-style-type: none"> ・街の活性化、若者(20~30代)向けの企業を誘致して若者を増やす。 ・地区センターの建替
コミュニティ活動(中長期)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動を推進するための体制・仕組みづくり ・若い人のボランティア活動への参加 ・レイクタウン自治会との交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターの建替

◎第2回川柳地区まちづくり会議『地区の強みと弱みについて』への追加意見

キーワード	問題点（弱み）
道路	・車がない世帯の買い物が不便
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育に入れない。 ・保育所がない。 ・地元支援学級がない。

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大型公民館のソフト面について ①夜間災害体験 ②春・夏・正月休みの小・中生の勉強支援 ③子供夜食堂設置 ④川柳の歴史講座 ⑤子ども遊び教室の拡充 ⑥出前講座の月1回開催 ⑦健康体操グループ ⑧レイクタウン自治会との交流 ・総タイトルの変更。「豊かな自然に抱かれて郷土愛溢れる、伸び行くまち川柳」 ・目標1タイトル変更。地域活動の拠点＝公民館を建て替えて川柳らしさを推進する
------------	---

目指したいまち：(仮)川柳らしさを生かしたまちづくり(文教・福祉、新たな取組み)

≪Bグループの意見≫

★：拠点づくりに関する取組み

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
<p>イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児の相談場所、コミュニティを充実させる。★ ・子供(キッズ)を対象に、スポーツイベントやフェスタなどを行う。 ・お祭り等を開催し幅広い世代と交流を図る。 ・老若男女参加のスポーツイベントで交流を図る。 ・公民館が使いやすくなれば、小学生が嬉々と集い、イベントも企画しやすくなる。(現在の公民館は暗いイメージ)★ 	
<p>新住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して新住民(レイクタウン)とのコミュニケーションを図る。 	
<p>伝承交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋のような取組み ・子ども向けイベントの開催 ・昔のあそび(ベーゴマ、メンコ、けん玉)を地域の人が子どもたちに教える。(将棋教室等) ・中学生・高校生を講師に公民館で、講座を開催(流行語講座等) ・夏祭りの発展 ・子どもと年配の方との交流、ひのき荘で何かを教えてもらう。 ・農業をされてきた方々の経験を伝承するイベント ・子ども太鼓や夏祭り、文化祭といった発表の場が増えて、お母さん同士の交流が増えている。 ・地区の歴史の紹介 ・伝統(職業)の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識のある講師の派遣
<p>みんなが楽しめる場所</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ペット飼育マナー講習会の実施、ペット飼育のルール化(フンなど) ・空いている畑の活用(家庭農園など) ・ひのき荘は川柳地区だけでなく、蒲生地区の方も多く来館している。夏場は閉館時間を遅くして、交流の場を充実させてほしい。

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
		<ul style="list-style-type: none"> ・犬を飼っている方が多いので、ドックランをつくり、他の公園等を汚さないようにしてほしい。
学校避難		<ul style="list-style-type: none"> ・一時的避難場所として学校の体育館を利用できるようにアイデアを出し合う。 ・学校校庭に太陽発電を設置して支援が来るまで応急的に対応ができるようにする。
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時の見守りの充実 	
都市基盤		<ul style="list-style-type: none"> ・調整区域ではあるが、下水道を整備してほしい。併せてU字溝の清掃もしてほしい。 ・夜間歩行者は車からだどわかりづらい。車の照明でセンターラインが分かるようにしてほしい。 ・地区内の信号機に表示板（学校入口、地区センター入口など）をつけて初めての方も場所がわかるようにしてほしい。 ・本の貸出ができる施設の整備★ ・道路の拡張、通勤者の裏道として交通量が多い車道・歩道を広げ、道路環境を良くしてほしい。

目指したいまち：(仮)美しく住みやすい住環境づくり(環境)

≪Aグループの意見≫

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 ・ポイ捨て禁止の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の支援による自治会単位でのごみステーションの整備
ペット	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位でのペットマナー向上の推進 ・ペットのマナー教室 	
道路 歩道		<ul style="list-style-type: none"> ・けやき通りの歩道の根っこを取り除く。 ・通学路の歩道整備
用水 排水	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所、要改善箇所の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛西用水整備 ・農業用水の整備 ・八条用水の整備 ・生活排水の整備 ・八条用水緑道右岸の緑道整備
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人のデザインセンスを取り入れる。 ・笹塚小橋近くの古綾瀬川にいるカワセミ保護 ・まちなかの自然を残し、活かすための検討 ・葛西用水のギンヤンマ保護 ・公民館又は小学校でビオトープを作る(中長期での取組み)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林を自然資産と捉えて、市が中に入って整備する。 ・桜並木の保全
生活の 利便性		<ul style="list-style-type: none"> ・朝日バスを循環バスに変える(中長期での支援)。

◎第2回川柳地区まちづくり会議『地区の強みと弱みについて』への追加意見

キーワード	問題点(弱み)
用水	<ul style="list-style-type: none"> ・八条用水右岸の農道整備と桜保全

目指したいまち：(仮) 犯罪を未然に防ぎ、災難に強い地区づくり・安全で快適な地区の暮らしをさせる道路づくり(防災・防犯、道路環境)

《B グループの意見》

★：拠点づくりに関する取組み

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄、最低 3 日分の食料は自分で確保する。公助をはじめからあてにしない。 ・ 近所の人との関わりを強くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄倉庫の設置 ・ 子どもの通う通学路は最優先に直す。 ・ 小型のソーラー発電システムの設置(安価であるため導入しやすい) ・ 簡易トイレの備えの充実 ・ ひのき荘を防災支援施設の一部として活用する。★ ・ 電柱は倒れやすいので地下に電線を埋設してほしい。
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下校時に周囲の人の目を増やす(散歩・買い物を下校時に合わせる)。 ・ パトロールの実施 ・ 朝・昼・夜のパトロールの強化 ・ 近所の人との関わり強くする。 	
夜間の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の外灯は一晩中つけておく。 ・ 屋敷林の枝が防犯灯を遮ってしまうため伐採が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街灯の設置
道路環境		<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路標示がすぐ消えてしまうため、耐久性のある塗料にしてほしい。 ・ 流通団地があり、大型車両が増えている。川柳地区内に歩道のないところもあり、危険なので見直してほしい。 ・ 市の担当課は地域内をパトロールして、不備を見直してほしい。
防犯		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館周辺に交番がほしい ・ 交番の設置 ・ 防犯カメラをもう少し増やしてほしい。 ・ 防犯カメラの充実

◎第 2 回川柳地区まちづくり会議『地区の強みと弱みについて』への追加意見

キーワード	問題点(弱み)
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯体制の拠点である交番がない、13 地区で川柳だけである。
避難	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電対策 ・ 小中学校に下水道が通っていない。→避難所になるので、整備が必要。

第4回川柳地区まちづくり会議の記録

会議名	第4回川柳地区まちづくり会議
開催日時	令和元年10月17日(木) 19時~21時
参加者数	15人
事務局	市長公室：徳沢政策担当部長 政策課：山元副部長(兼)課長、濱野副課長、荒井主事 都市計画課：西村調整幹、佐田主幹 市民活動支援課：栗田主事 川柳地区センター・公民館：中村所長、須賀主事、佐川主事 ランドブレイン：稲葉氏、中原氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 提言書(案)について (2) 将来像の見直しについて 4 その他 5 閉会

質疑応答

(1) 提言書(案)について

委員：6 ページ「防災の拠点づくり」の 1-5-②「備蓄倉庫の備蓄品を検討し、管理を行う」について、管理を地区で行うのは難しいのではないか。また、1 ページの課題の「地区の拠点としての整備が求められています」という文章を、「地区の拠点としての整備が早急に求められています」に変えたほうがよいと思う。なぜなら、川柳地区センターは昭和 50 年にできたのにもかかわらず、他の地区はすでに整備されていて、整備が遅れているからである。

委員：通常の備蓄倉庫に関しては市で管理するが、各自治会で準備をしているものは自治会で管理することになる。議論は、どちらの備蓄倉庫のことか。

事務局：以前のグループワークの中で、市が整備する防災拠点の備蓄倉庫を地区で管理したいという意見があった。

委員：地区での管理は難しいと思う。備蓄品が期限切れになった場合どうするのか。

会長：文脈上は、市が整備した備蓄倉庫を地区で管理する、だと思うが、いかがか。

委員：《市への期待》に「備蓄倉庫の整備」や「備蓄品の充実」と書かれている。この中に“管理”の意味も含めたらよいのではないか。

委員：備蓄品の検討は自治会でできると思うが、管理については難しいと思う。

会長：ここで結論ということではなく、検討ということで進める。1 ページの拠点の整備のご意見も含めて調整していきたい。

委員：この提言書は今日をもって確定ということか。

事務局：今日で確定ではない。さらに字句の修正があるかと思う。先ほどの備蓄品の管理や、地区センターの建替に「早急に」という文言を入れることなどの意見もある。そういうご意見が多数ならば、入れる方向で進めたい。

委員：今後、こういった形で地区の意見を聞くのか。

事務局：例えば、再度会議を開催することや、会長に一任してもらうこと、事務局と会長、副会長さんとで検討を行い、皆様に示すということもあると思っている。

委員：8 ページ 2-2-③の中の、「地権者等による協議の場の設置」については、まだ早すぎるのではないか。市街化区域編入の検討について意見が出て盛り上がっているならいいが、まだ盛り上がっていないのに入れるのは時期尚早だと思う。

委員：最初の提言にはなかった気がするが、地区からの意見なのか、行政から提言を盛り込みたいという意向か。

会長：協議の場が出た意見かどうかの記憶はないが、市街化区域への編入というのも検討が必要ではないかという意見があったのは記憶している。

委員：この意見は、市街化区域編入しないと下水道整備ができないという流れで出たことだと思う。提言するのはいいが、実現は国の方針などにもよる。

委員：調整区域ではあるけれども市街化区域と同様な整備を要望するというものでいいのではないか。

委員：先に、市街化区域にするためにインフラ整備にどれだけの費用がかかるなど、1、2 年ではなく長いスパンで市から提案してもらえばいいと思う。

事務局：3 ページの目標 2-2-③については、唐突感があるように感じる。

会長：確かに唐突感があり、時期尚早かもしれない。

委員：市の方針として、調整区域だと下水道整備できないと判断されたということだと思ふ。

委員：下水道を通すというのは、市街化区域でなければならないのか。

事務局：下水道の整備は、下水道審議会で答申され、現在、市街化区域以外は新たな下水道整備はしないという結論となっている。

委員：下水道の話は、調整区域にある学校が避難場所に指定された際、下水道がなければトイレが利用できないからということだったと思う。

事務局：避難場所のトイレについての問題は、11 ページの 3-2-②《市への期待》に、「避難場所への下水道整備（小・中学校、南体育館）、空調設備整備、停電対策」として記載している。ソーラー発電システムの整備についても意見が出ているため、こちらに載せている。

委員：3-2-③の《地域でできること》にある「災害弱者への支援の検討」について、公民館が整備されたとしても川柳地区の全員が避難することはできない。防災拠点ができるまでは、一時的に地域の自治会と協定を結び、空きマンションも避難場所として活用を検討してはどうか。公共の避難場所ができるまでの間でいい。

委員：最初に、city メールで連絡がくる避難場所は地区センターだけである。小学校、中学校が避難場所に指定されているが、すぐには開設されない。

委員：先日の台風で公民館に避難した人たちはいつごろから来たのか。

事務局：土曜日の朝 8 時半から自主避難ということで開けていたが、一番初めに来た方は 9 時過ぎくらいだった。

事務局：近隣の一時避難場所については《地域でできること》の方に入れるのか。マッチングまで行うということではないと思う。今後多方面な災害が考えられるため、前回の台風の時のように垂直避難しなければならない時に利用できるようにとということか。

委員：そうである。

委員：自治会と幼稚園で避難場所の協定を結んでいるところもある。空いている幼稚園の部屋を避難するときに利用できることになっている。

委員：今のご意見は、あくまで一時的な避難場所の話であり、避難場所の拡大を申し上げたい。災害弱者への支援の検討でも良いかもしれないが、おおざっぱではないか。具体論としては今のようなお話の方がよいのか。

事務局：今の意見だと③「災害弱者対策を検討する」ではなく、②「避難場所や避難方法を周知、徹底する」の《地域でできること》として、「各自治会同士が協定を結び円滑な避難場所を設ける」という形になると思う。

委員：民生委員でも、災害が起きた時の 10 か条がある。災害弱者については、個人情報の問題で踏み込めない。そのため、年に一回程度の名簿更新のときに、災害弱者となるような人の確認をしている。民生委員も 60 代、70 代と高齢化しているので、民生委員と自治会の連携が必要だと感じる。

委員：11 ページの 3-2-②は、調整区域であっても、避難場所については特に下水道の整備を要望するということか。

事務局：一般的には、調整区域は面整備をしないと下水道は入らないが、調整区域であ

っても、避難場所については特別に下水道整備ができるようにして欲しいといった意見が出たため、今後の何らかの動きが出てくるよう、提言書に載せておく必要がある。

委員：自主避難はひのき荘に行こうという考えの人はいなかったのか。ひのき荘は避難場所にならないのか。

事務局：市内で避難場所は 97 の施設がある。今回の越谷市としての判断としては、自主避難に関してはなるべく地区センターを活用していただこうと考えた。自主避難をされる方は越ヶ谷地区センターを除く 12 の地区センターにさせていただくようにした。桜井地区センターでは、人数が多くなりすぎてしまったので北体育館を開放した。おそらくこちらもいっぱいになってしまったら次善策としてひのき荘の開放も考えられた。今回のケースの良し悪しは検証しなければならないが、ひのき荘が決して避難できない場所ということではない。ご意見は今後の参考にさせて頂く。

委員：6 ページ上段 1-4-①に「子ども食堂の設置」とあるが、今は全く動きがない状況である。月 1 回の高齢者の会食もスタッフが兼務してぎりぎりの状態なのでここに載せても実現性がないように思える。

会長：ここに載せたのは第 3 回会議までの議論で出たからである。今やっていることだけではなく、新たな地区センターができたなら考えられること、やっていかなければいけないこととして記載している。

委員：この提案書に基づきまちづくり推進計画を作ると思われる。絶対にできないものは載せない方がいい。載せてしまうと、まちづくり推進計画で今後 5 年間できないことばかりになってしまう。理想は理想でいいと思うが、ボランティアの高齢化が進み実際の対応が大変なのではないか。

委員：子ども食堂はどうしても必要なのか。現実的に今、川柳地区で必要とされているのか。

事務局：「子ども食堂の設置」については、提言書から除く、もしくは全国的に子どもの貧困が取り上げられており全地区にまたがった課題であるため、「子ども食堂の設置の検討」に修正するかの 2 つのパターンが考えられる。

事務局：今後の展開の可能性も見据えて、あっさり省くよりも「～の検討」、「～の推進」ということでいかがか。

委員：賛成。

(2) 将来像の見直しについて

委員：長いより短い言葉で書いた方が良くはないか。

委員：「豊かな自然」というよりは、「自然と郷土愛あふれる川柳地区」にした方がよいと思う。

会長：たとえば「伸びゆくまち川柳」というものを、「文教のまち川柳」とすると文字数が減ってよいのではないか。

委員：将来像というのは、今後これに向かって川柳地区はどのようにやっていくかを示すものだと思う。この文言では何をやっていくのかわからない。「郷土愛あふれる

安全安心なまち川柳」など、何を目標にするかを入れてしまった方がいいと思う。

委員：67年間川柳に住んでいる。小学校六年生までの風景は田園があり川もきれいで豊かだったと思う。今はあまりきれいなイメージはあまりないため、「豊かな」はつけなくてもよいのではないかと思う。

会長：生きもの調査を始めて人が集まってきている。まちをよくする気持ちは郷土愛がないと育ってこないと思う。

委員：川柳地区でこれからやろうとしていることや目指すものを端的に並べて、「～川柳」とすればよいのではないか。「安全安心」「教育」など。

会長：「豊かな」はとり、「自然と郷土愛あふれる安全安心のまち川柳」はどうか。加えて、近隣を含めると6つの学校があり、「文教」というのも一つのイメージと感ずるため、「自然と郷土愛溢れる文教のまち川柳」というのもよいと思う。

委員：川柳地区が目指すものというイメージなのであれば、「～まちづくり」という締めくくりがいいと思う。地区が目指すものなのか、地区をアピールするようなものにするのかによって将来像の最後の部分は変わってくると思う。

委員：資料2の5つのテーマのキーワードはよくまとまっていると感じる。

委員：川柳には犯罪や災害などが起こらないまちというイメージがある。将来像に「安全」「安心」というイメージの言葉を入れたい。

委員：自然というと一般的には「緑」が入ってくると思う。

委員：目指すのであれば「安全安心」ではないか。

委員：「文教のまち」というのは将来像というより現在の姿ではないか。

会長：「やすらぎ」というのもよいのではないか。

会長：皆様のご意見を踏まえ、今日ご覧いただいている提言書を会長、副会長で修正させていただきます、市長に提出したい。会長、副会長に一任ということでよいか。

委員一同：一任する。

会長：一任とさせていただきます。しっかりやっていくので、よろしくお願ひしたい。

以上